

## リスタート! 新たな希望への挑戦

1月の月間 職業奉仕月間

本日の例会プログラム 第2260回例会令和8年1月26日

- ・夜間例会(年初め懇親会)
- ザ・メイビア宮崎

出席委員会報告

平賀義浩委員長

### ●出席状況

本日状況	
会員数	(53)56名
本日出席者数	30名
本日欠席者数	26名
出席率	56.60%

前々回修正出席状況	
メイクアップ数	2名
修正出席率	64.81%
メイクアップされた方(敬称略)	田中 寛、渡邊友樹

## 会長挨拶

田口幸登会長



新年あけましておめでとうございます。と言いましても今日は19日で正月三が日から2週間が過ぎまして。鏡開きが終わり、七草粥を食べて、十日戎が終わりました。皆様方に置かれましては新年の挨拶廻りが終わった所ではないでしょうか。今年の正月休みは9連休の会社も多かったと思います。ゆっくりとした正月を迎えら他事でしょう。私事ですが27日から3日まで孫の相手でクタクタ!流石に1月4日は一日中寝ていました。孫も来年は小学生。帰省するのも今年が最後になるのかなあとと思うと寂しい気もしますが…。

先週から永田町がザワザワしてしまして、23日に召集されます通常国会で衆議院が解散するようですね。宮崎では今週末は宮崎市長選挙の投票日です。今回は無投票とばかり思っていました…。投票しなくちゃいけなくなりました。衆議院選挙で600億円、市長選挙でも5千万円掛かります。無駄なお金とは言いづらいますが、何かもったいない気がします。年始から国の内外で何となく気ぜわしいのは気のせいですかねー。アメリカのトランプさんにも困ったものですね!ベネゼエラ、他国の首相を拘束ですよ…。信じられない!!一日も早く穏やかな日々が訪れるのを願っています。

さて、ロータリー活動もようやく半分が終わりました。残り半年、よろしくお願ひいたします。年末に南ロータリークラブの事業終了後に重要な議案が入ってきましたのでお知らせいたします。串間ロータリークラブの今後の活動は、志布志ロータリークラブに吸収される事となりま

す。また、日南ロータリークラブが宮崎中部グループに加入したいとの申し入れが来ています。この件につきましては皆様の意見を伺いながら本日の理事会にて協議をさせていただきたいと存じます。慎重に審議したいと思いますので、宜しくお願ひ致します。

まずはにっこり!今日も笑顔で!!

## 幹事報告

日高安隆幹事



・ガバナーからの年賀状について  
新年らしく2730地区西本ガバナーより、クラブ宛に年賀状が届いております。ご披露させていただきます。

- ・財団室NEWSについて  
財団室NEWS 1月号が届いております。閲覧希望の方は事務局へお越し願ひます
- ・フィリピン育英会バギオ基金より  
2024年度の事業報告があり、後援ロータリークラブからの対象年度の寄付金額は、合計で8,173,000円でした。「日比両国の親善友好に寄与して参ります」との事です。
- ・鹿児島ユネスコ協会より  
この協会では、世界中の学校に行けない子供達の為に「世界寺子屋運動」として、書き損じハガキ・未使用切手・プリペイドカードを集めて、活動にいかしております。事業所やご家庭に眠っている物がありましたら、2/末ぐらいまでに例会時か事務局までお願ひ致します。
- ・RC周年関係の案内がいくつかございます。  
4月11日(土)宮崎中央RC、国分RC、4月18日(土)高鍋RC。参加希望の方は、事務局までお問合せ願ひます。

- ・エコキャップ推進協会より  
今回受領2,300個で累計367,8000個となりました。皆様からのご支援ご協力、誠にありがとうございます。
- ・1月の国際ロータリー為替レートは  
1ドル/156円となっています。
- ・年末の夜間例会（家族懇親会）時、オークションでの売上額が221,500円となりました。有効に活用して参ります。

## 親睦委員会

安藤茂洋委員長



親睦委員会からの報告です。来週1月26日(月)の夜間例会、1月31日(土)の親睦ゴルフコンペの出欠が本日までとなっておりまして、出欠のまだな方は、本日まで回答をよろしくお願いいたします。

また、年末にFAXさせていただきました4月17日～19日の蓮田ロータリークラブ様の周年事業のご出欠も1月31日(土)までとなっておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

## ●結婚月

蛸原 学会員

## ●誕生月

菊池武英会員、川村雅宣会員、岡崎勝信会員  
堀内祐治会員、吹毛井 瞳会員



戸高勝利前年度ガバナー補佐



## 宮崎南部グループ・宮崎中部グループ合併要請の流れについて

- ・2024-2025笹山義弘ガバナー年度において、日南RCの峰松AGより宮崎県南部Gの状況説明がありました。内容は、串間RCの会員が1人になる。

日南中央RCは近く解散するとの連絡があり難題を抱えているとの相談。

- ・日南中央RCの元会員へ立て直しの依頼。  
(現在は会員9名までに回復)

- ・宮崎県中部Gへの合併の打診(相談)がありました。
- ・宮崎県中部Gの会長・幹事会で説明。
- ・ガバナー、ガバナー補佐経験者会議で数回議論するも2027-2028年度宮崎県中部Gからのガバナー選出の問題が先行してしまう。串間RCの意向が伝わらず持ち越しとなる。
- ・2025年10月西本G年度の地区大会で地区諮問委員会に合併の件が諮られる。
- ・宮崎県中部Gの会長幹事会にて池ノ上PDG、藤堂AGの参加の上、峰松AGが説明とお願いをされる。賛同者多数ではあるが、意志の保留のクラブには後日個別に説明、理解を得ることになる。
- ・地区最高責任者である西本Gの結果発表待ちの状態であります。

現状報告：串間RCは親クラブである志布志RCと志布志みなとRCが支援します。

(福島高校IACの活動は継続されることとなります)

評：宮崎県中部10RCと日南の2RCとの合併は賛否両論あるかと思えます。

日南RC・日南中央RCの持続的な存続と活性化を強く望まれての合併の要望は、同じロータリーアンとして看過することはできません。世界が分断、再編のなか、RIもRCも変革の時代、会員の減少、解散するクラブがなくなる為の行動は「よいことのために手を取りあおう」ではないでしょうか。

## 職業奉仕委員会卓話

大田寛子委員長



### 一 四つのテストは、上にも下にも 同じ重さで返ってくる 一

皆さま、こんにちは。

本年度、職業奉仕委員長を務めております、大田でございます。本日は、ロータリーの職業奉仕の根幹である\*\*「四つのテスト」\*\*についてお話します。

最初に申し上げておきます。今日の話は、若手に向けた説教でも、ベテランへの苦言でもありません。**立場が上でも下でも、調子に乗った瞬間に、必ず自分に返ってくる話**です。

どうぞ、笑いながら聞いてください。ただし一度だけ、「これは自分の話かもしれない」そう思っただけであれば十分です。

四つのテストは、もともと経営危機に直面した一人の実業家が、「この判断は正しいのか」「自分は

逃げていないか」と、自分自身を律するために生まれた言葉です。つまりこれは、**誰かを評価するための道具ではありません。立場を持つ者、力を持ち始めた者が、自分に向ける問い**です。

まず一つ目。

**「真実かどうか (Is it the Truth?)」。**

私たちはよく、若手に仕事を任せるとき、こう言います。

「勉強になるから」

「経験になるから」

「若いうちにやった方がいい」

これは、確かに真実です。ただし、**半分だけ**です。

もう半分の真実は、

「誰かがやらなければ回らない」

「時間と体力がある人に頼みやすい」

という、大人の事情です。ここは、立場のある側が自覚しなければなりません。

一方で、若手にも同じテストは向けられます。

任されることが増えると、

「自分は評価されている」

「自分がいないと回らない」

そう感じ始める。その気持ち自体は、自然です。

ただし、それを**“自分の実力が確定した証拠”だと思**い始めた瞬間、**真実からズレ**始めます。任されているのは、信頼の入り口であって、ゴールではありません。

二つ目。

**「みんなに公平か (Is it Fair to all concerned?)」。**

行事の準備、例会の運営、段取り、雑務。正直に言えば、同じ顔が思い浮かぶはず。それは偶然ではありません。だからこそ、上の立場の人間は、「負担が偏っていないか」を自分に問い続ける必要があります。同時に、若手にも一つだけ言わせてください。

「自分たちばかりがやっている」

「上は口だけだ」

そう感じる場面も、あるでしょう。ただ、その感覚を**優越感や免罪符に変えた瞬間、公平さは崩れま**す。不公平を正す力と、態度が大きくなることは、まったく別物です。

三つ目。

**「好意と友情を深めるか (Will it build Good will and Better Friendships?)」。**

ロータリーは、作業を回すだけの集まりではありません。好意と友情がなければ、続きません。

上の世代に対して、はっきり言います。困ったときだけ若手を呼ぶ関係では、友情は育ちません。そして、若手にも同じだけ言います。仕事を任されたことで、**先輩を値踏みするような態度**が出始めたら、その瞬間に好意と友情は壊れます。信頼関係は、どちらかが試すものではありません。**双方が守り続けるもの**です。

四つ目。

**「みんなのためになるかどうか (Will it be Beneficial to all concerned?)」。**

これは、四つのテストの中で一番厳しい問いです。若手に任せれば、行事は回ります。クラブは楽になります。しかしそれだけなら、それは「便利」なだけで、

「ため」にはなっていません。

一方で、若手が中心になって動き始め、

「自分たちが回している」

「自分たちが主役だ」

そう思い始めたとしたら、それもまた、長い目で見れば誰のためにもなりません。職業奉仕は、**どちらか一方が気持ちよくなる状態を良しとしない**考え方です。

ここで、**職業奉仕と会社の存続意義**を重ねたいと思います。会社が存続する理由は、売上でも、規模でもありません。**社会にとって、必要とされ続けているか**。そしてその価値は、社長一人では生み出せません。現場で動く人、支える人、育ちつつある人。**人が育たない会社に、未来はありません**。これは理念ではなく、現実です。

ここで、**人を使う経営と人が残る経営**を比べます。人を使う経営では、若手は「便利な存在」になります。一方、人が残る経営では、若手もまた**組織を背負う側**になります。ただし、背負うとは、権限を持つことではありません。態度、言葉、振る舞い、謙虚さまで含めて、です。

最後に、若手の皆さんに率直に伝えます。

任されているうちは、まだ途中です。本当に評価されるのは、任されなくなったあとも、信頼が残っているかどうかです。先輩が何も言わなくなったとき、それは自由ではなく、放置かもしれません。だからこそ、謙虚であることは、遠回りに見えて、一番の近道です。

そして、上の世代の皆さんにも。若手が伸びているときほど、距離感と役割分担を意識しなければなりません。使うことと、育てることは違う。任せることと、丸投げは違う。職業奉仕とは、この違いを自分に問い続ける姿勢そのものです。

四つのテストは、若手を裁くためでも、ベテランを守るためでもありません。立場が上でも下でも、調子に乗った瞬間に、必ず自分に返ってくる鏡です。この鏡を、クラブ運営にも、会社経営にも当てながら、次の世代に胸を張って引き継げるクラブにしていきたい。そう願って、本日の話を終わります。ご清聴、ありがとうございました。

## 会員卓話

杉本英一会員



本日会員卓話を担当します、杉本です。皆様、今年も1年よろしくお祈りします。昨年末、田代委員長に1月19日の卓話お祈りしますと言われ、何気に快諾したのですが、まさか新年1発目の卓話になるとは思ってもおらず、折角新年1発目なので何か景気の良い話でもしてみようと思ったのですが、だからといってなかなかそのようなネタが見つかるわけでもありません。そこで、一昨年前から一年がかりで行ってきたことが昨年末

ようやく完成しましたので、本日はその話をしたいと思  
います。一年かけて何をしてきたかという「インプラ  
ント」になります。

元々、若気の至りで前歯2本を欠損しており、周りの  
歯を3本犠牲にしてブリッジ(差し歯)をしていました。  
おととしの令和6年9月の中頃に仕事がひと段落して  
三時のおやつにお団子を食べていたところ、この差し  
歯がゴロっと取れたところからこのインプラントの話  
が始まります。元々この差し歯も5年に1度くらいのペ  
ースで取れていましたので、また接着してもらえばいい  
と軽い気持ちで歯医者を訪れたところ、土台の歯が  
崩壊しているので5本全て抜歯です、入れ歯かインプ  
ラントを選んでくださいと言われました。寝耳に水のお  
話だったのでかなり戸惑いましたが、まだ40代ですし  
インプラントにしても長年使い続ければ元は取れるかな  
と思って、前歯5本をインプラントにすることにしました。

それから、歯茎の状態の改善を図ったり、いろいろ  
と準備を進めて、令和6年10月31日に前歯5本を抜  
歯するのですが、1度に5本の歯を抜くのですからこ  
れがなかなか大変でした。約1時間かけての施術でし  
たが、麻酔が効いているので今何本目の歯を抜いて  
いるのかも分からず、ゴールが見えない状態で引かれ  
たり、押されたり、時にはパキパキと何か割れるよう  
な音を聞きながら口を開け続けるのはなかなかの苦行  
でした。先生の腕の良さもあって無事に抜歯も終わり  
ましたが、ただ横になっていただけなのにへトへトにな  
ったことを覚えています。

そして、その日から約1年にわたる入れ歯生活がス  
tartしました。入れ歯生活で大変だったことを思い  
出してみると、まず一つ目が物が噛めないということ  
でした。私の入れ歯は両サイドの歯にバネを引っ掛け  
るタイプのものでしたので、見た目は歯があるように  
見えますが、噛む力はまったくありません。入れ歯部分  
でものを噛もうとすると、入れ歯がずれて引っ掛けて  
いる歯に激痛が走ります。それでもお腹は空くので何  
か食べないといけないわけですが、そこで「カレーは  
飲み物」という格言を思い出し、カレーにチャレンジし  
ました。結果カレーは飲みました。本当にこの1年はか  
なりカレーに助けられました。

二つ目が活舌が変わるということです。抜歯の前か  
ら言われていたのですが、歯を抜くと活舌が変わりま  
す。私の場合はさ行が発音しづらくなり、特に「す」の発  
音が難しくなりました。私は電話に出る際に「はい、杉  
本です」と応対するのですが、これが「はい、しゅぎも  
とです」となります。注意して杉本までは言えても、「杉本  
でしゅ」となったりします。これには1カ月ほど苦しまし  
ましたが、暇なときに練習したりして何とか克服しました。

三つめは、あまり大したことではないですが毎日の  
メンテナンスが面倒ということです。毎日家に帰った  
ら、入れ歯を外し歯ブラシで磨いて、入れ歯洗浄剤で  
洗浄するのが日課になるのですが、これが毎日にな  
ると結構大変でした。

逆に、入れ歯で良かったことですが、前歯がないこ  
とによって「川田利明のストレッチプラムの顔マネ」のク  
オリティがあがったことくらいです。

抜歯後、このような日々を送りつつ、歯茎と骨の回  
復具合を確認しながら定期的に歯医者に通い、抜歯  
から7カ月後の昨年5月21日にインプラントの手術を  
する運びとなりました。インプラントの手術というのが、歯  
茎を切開し、ドリルで上あごの骨に3か所穴を空け、チタ  
ンで出来た杭を3本ねじ込むというものでしたが、事前  
の準備が良かったこともあり、手術は20分ほどで終わ  
りました。手術前はだいぶナイーブになっていましたが、終  
わってみれば抜歯に比べて穏やかなものでした。

それから埋め込んだチタンの杭が上あごの骨に定着  
するのを待ちながら義歯を作成し、義歯が入ったのが  
昨年11月6日です。抜歯からほぼ一年かかりました。イン  
プラントの使用感ですが、もちろん自前の歯ではないの  
で異物感がありますが、噛んだ感覚もあり普通にものが  
噛めるので、それだけでも有難いことだと思います。

ところで気になるお値段の方ですが、保険外診療  
がインプラント3本の手術で78万円、義歯の作成が  
53万円、入れ歯が5万円、その他の保険内診療代を  
含めて合計で150万円くらいかかったのではないかと  
思います。

本日は、一患者としての入れ歯とインプラントにつ  
いてお話させていただきました。入れ歯もインプラント  
も、失った歯の機能を一部補うものではありませんが、  
元々の歯に代わるものではなく、自前の歯に勝るもの  
でもありません。失って初めてその大切さが分かる  
ということはありますが、今回も正にそれを実感して  
います。歯医者からは「80歳になるまで、自分の歯を20  
本残しましょう」と言われていますので、既に5本失っ  
てはいますが、この目標を達成するために日々のブラ  
ッシング、ケアに努めていきたいと宣言して、今回の卓  
話を終わらせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

## ニコニコBOX

安藤茂洋会員

社労士会セミナーのご案内。

ニコニコ 1件 1,000円  
BOX 累計 347,500円

募金箱 4,971円  
累計 94,494円

## 宮崎南ロータリークラブ

事務局 〒880-0806 宮崎市広島1丁目3-3秀豊ビル4階  
TEL.0985-22-6767 FAX.0985-22-9170  
HP : <http://mm-rc.sakura.ne.jp/e-mail> : [m.m-rc@alto.ocn.ne.jp](mailto:m.m-rc@alto.ocn.ne.jp)

例会場宮崎観光ホテル(毎週月曜日12:30~13:30開催)  
〒880-8512宮崎市松山1-1-1  
TEL.0985-27-1212